

基本方針4 低炭素まちづくりの推進

取組の方向性(1) 低炭素まちづくりに向けたハード整備

基本施策① 低環境負荷のまちづくりにむけた誘導方策の検討

市民、事業者とのパートナーシップによるまちづくりを推進するとともに、様々なまちづくり手法の検討・導入に努め、低環境負荷のまちづくりを進めます。

基本施策①「低環境負荷のまちづくりにむけた誘導方策の検討」における市施策(表2-18)

実施事業		担当課等	内容
①鎌倉市都市計画マスタープラン推進事業	低環境負荷のまちづくり、市民・事業者とのパートナーシップによるまちづくりの推進	都市計画課	各課での事業に対し、鎌倉市都市マスタープランで方針・方向性を示している。

市民・市内事業者の方々から寄せられた声・アイデア ～ HPでの意見募集から その3～

【省エネ・節電について、現在取組んでいること】

- *「エコモード機能」の付いた電気製品は必ずエコモードで使用している。エコモード機能の付いていないテレビは、画面の輝度などの設定を工夫している。
- *エアコンは各部屋にあるが、クールビズやウォームビズに取り組んで、極力使用しないようにしている。
- *テレビをこまめに消す、お風呂は続けて入る、人が居ない部屋の電気は消す、門灯は家族全員帰ったら、すぐ消す、延長コードには、スイッチが付いた物を使いこまめに切る、以上5点で、本年度は、毎月前年(2013年)対比10%前後の電力使用量の削減ができています。

基本施策② 都市構造の低炭素化に向けた総合的取組みの推進

緑の保全や緑化の推進等によるヒートアイランド対策、エネルギーの面的利用の促進、環境負荷の低減につながる交通体系の整備やごみの減量・資源化策の推進、建築物の低炭素化(省エネ住宅の促進)など、都市構造を構成する様々な要素の低炭素化に向けた取組みを総合的に進めます。

基本施策②「都市構造の低炭素化に向けた総合的取組みの推進」における市施策(表2-19)

実施事業	担当課等	内容
①緑地保全事業、緑化推進事業、公園整備事業の推進等によるヒートアイランド対策	①-1 緑地の確保	都市計画課 各課での事業に対し、鎌倉市都市マスタープランで方針・方向性を示している。(再掲)
		みどり課 鎌倉市緑の基本計画に基づき、保全すべき緑地の確保等を実施。 特別緑地保全地区の指定、緑地保全契約の締結、保存樹木・樹林等の指定等を実施。
	①-2 緑化の推進	みどり課 鎌倉市緑の基本計画に基づき、緑化を推進。 開発事業における手続及び基準等に関する条例に基づく緑化の指導、接道緑化の推奨(まち並みのみどりの奨励事業)等を実施。
	①-3 公共建物、道路、公園の緑化	各施設管理者等 市管理の公共建物敷地等の緑化を推進。
	①-4 緑のカーテン普及事業	環境政策課 緑のカーテン普及事業として、緑のカーテン栽培講座と、講座の参加者にゴーヤの苗(各4株)の無料配布を実施。 また、保育園、小中学校、支所等の市施設における緑のカーテン栽培を実施。
①-5 鎌倉市吸収源対策公園緑地事業	公園課 社会資本総合整備計画に基づき、鎌倉市吸収源対策公園緑地事業を実施。 梶原六本松公園は、用地取得が完了し開園済み。 山ノ内に市瓜ヶ谷緑地は、整備工事を完了し、一部開園開始済み。 (仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地及び(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地については、用地を取得済み。 山ノ内に市瓜ヶ谷緑地は、平成28年度当初の全面開園を予定。 (仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地、(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地は、平成29年度当初の開園を予定。 笛田1丁目公園は、平成28年度当初の開園を予定。 その他、(仮称)山崎・台峯緑地の整備を予定。	

実施事業		担当課等	内容
②水辺の整備事業	水辺の自然生態系に配慮した河川などの水辺の整備	下水道河川課	水辺の自然生態系に配慮した河川などの水辺の整備を実施。 親水環境の整備における浸水に対するリスクも考えられるため、今後、取組手法や取組箇所について調査・検討していく予定。
③雨水貯留設備設置の推進	③-1 雨水貯留槽購入費の助成	環境政策課	雨水貯留槽購入費補助金として、市内の住宅に雨水貯留槽を設置する場合、費用の2分の1を補助(上限2万円)。
	③-2 浄化槽雨水貯留施設設置費の補助	下水道河川課	排水設備を設置することにより不要となる既設の浄化槽を雨水貯留槽に転用し、雨水貯留施設を設置する工事を行う場合の費用を補助(上限4万円)。
④電気自動車(EV)の導入推進	④-1 公用車における電気自動車(EV)の導入(再掲)	管財課 環境政策課	公用車における電気自動車(EV)の導入を実施。 平成26年度末時点で、電気自動車(EV)を6台保有(軽乗用2台、軽貨物4台)。
	④-2 電気自動車充電器等のインフラ整備推進(急速充電器設置と無料開放)(再掲)	環境政策課	鎌倉市役所本庁舎に急速充電器を設置し、市民等への無料開放を実施。 ただし、無料開放については、神奈川県や県内自治体が課金システムの導入を始めていることから、周辺自治体の状況を見ながら、有料化の導入について検討。
	④-3 電気自動車利用者の所定駐車場利用料金減免(再掲)	環境政策課	藤沢市との都市連携により、電気自動車利用者の所定駐車場(鎌倉市役所、鎌倉芸術館等)利用料金減免を実施。 平成27年度以降は鎌倉市単独で実施。
	④-4 電気自動車充電設備への設置費補助金(再掲)	環境政策課	再生可能エネルギー・省エネルギー機器等設置費補助金交付制度として、電気自動車充電設備設置者への補助を実施(補助額は上限2万円)。
	④-5 電気自動車等の軽自動車税の非課税	市民税課	電気自動車等の普及促進を図るため、軽自動車税の非課税を実施。 平成21年4月2日から平成26年4月1日の間に登録された新車の電気自動車について、平成22年度から平成26年度課税分までの軽自動車税について、非課税を実施。 平成27年度以降は廃止。
⑤公共交通機関利用への転換促進と自動車利用の抑制	⑤-1 鎌倉フリー環境手形、パークアンドライドの実施	交通計画課	鎌倉地域内の観光スポットを広くカバーした5つの路線バスと、江ノ電の鎌倉駅～長谷駅間が一日自由に乗り降りできて、協賛店や寺社等で割引等のサービスも受けられる「鎌倉フリー環境手形」、鎌倉地域周辺の所定の駐車場に自動車を止めて、江ノ電、シャトルバス等の公共交通に乗り換えてもらうもので、駐車場と公共交通をセットで利用することによる料金割引が受けられる「パークアンドライド」を実施。

実施事業	担当課等	内容
⑤自動車利用の抑制と公共交通機関の利用促進	⑤-2 公共交通機関の利便性の向上などを、関係交通機関に要請(神奈川県鉄道輸送力増強促進会議等)	交通計画課 公共交通機関の利便性の向上などを、関係交通機関に要請(神奈川県鉄道輸送力増強促進会議等)。
	⑤-3 オムニバスタウン計画の推進(乗合タクシー、低床・低公害のミニバス導入など)	交通計画課 オムニバスタウン計画の推進(乗合タクシー、低床・低公害のミニバス導入など)。
	⑤-4 (仮称)鎌倉ロードプライシングの検討(鎌倉市交通計画検討委員会)	交通計画課 自動車利用の抑制策の一つとして、(仮称)鎌倉ロードプライシングを検討中。
	⑤-5 新規循環バス「スーバ」の社会実験	交通計画課 市東部とJR鎌倉駅を結ぶ路線について、通常と逆回りに循環するルートを運行するバスの社会実験を、平成26年5月3日から5月5日の3日間実施。 今後については未定。
⑥道路改築等	⑥-1 交差点改良等の道路改築により、交通の円滑化を推進	道路課 道路改良新設等を実施。
	⑥-2 歩道等歩行空間の整備(歩行者の利便性、安全性の向上、市民や観光客が歩いて楽しい街の創造)	道路課 歩道等歩行空間の整備として、歩道段差切下げ事業を実施。
⑦ごみの減量・資源化策の推進	ごみの減量・資源化策の推進	資源循環課 ごみの減量・資源化策を推進。
⑧住宅リフォーム・省エネ改修促進事業	⑧-1 住宅リフォーム助成事業(断熱改修工事等、住宅リフォーム工事費用の一部を助成。)	建築住宅課 住宅リフォーム助成事業として、断熱改修工事等、住宅リフォーム工事費用の一部について助成を実施。 平成27年度以降は事業の予定なし。
	⑧-2 住宅の省エネ改修に伴う固定資産税(家屋分)の減税制度	資産税課 省エネ改修を行った住宅について、改修を行った翌年分の固定資産税を減免。 平成20年4月1日から平成28年3月31日までに省エネ改修を行った家屋が事業の対象であり、平成28年度までは事業を継続予定。

実施事業		担当課等	内容
⑨深沢地域整備	緑地の確保、自然採光や自然風等の自然エネルギーの利用をめざすとともに、エネルギー消費量を極力小さくする建築物の建設の誘導。	深沢地域整備課	深沢地域整備について、緑地の確保、自然採光や自然風等の自然エネルギーの利用をめざすとともに、エネルギー消費量を極力小さくする建築物の建設の誘導。 平成25年5月に、良好な都市空間・都市景観の形成や都市環境の整備に係る具体的なまちづくりの指針となる「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)」が鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会より市へ提言された。
⑩大船駅東口駅前整備	再生可能エネルギーの活用、省エネルギー設備の導入など、低炭素化に配慮した環境配慮型の建築物を建設することにより、環境負荷の低減をめざす。	再開発課	大船駅東口駅前整備について、再生可能エネルギーの活用、省エネルギー設備の導入など、低炭素化に配慮した環境配慮型の建築物を建設することにより、環境負荷の低減をめざす。
⑪環境負荷の少ないまちづくりへの誘導方策の検討	一定規模以上の建築物等の新築・増改築の際に、再生可能エネルギー等の導入や省エネ施行を要請するなど誘導策の検討	環境政策課	鎌倉市開発事業における手続及び基準に関する条例に、開発事業における環境整備への協力の一つとして、共同住宅における太陽光発電設備等の設置を規定しているが、内容の拡大等の検討や、情報収集を実施。
⑫省エネ住宅促進のための情報提供や相談・支援体制の強化策検討	住宅の建て替えや改修にあたっての適切な情報提供や相談支援体制の検討	環境政策課	住宅の建て替えや改修にあたっての適切な情報提供や相談支援体制の検討にあたり、情報収集を実施。



市施策の実施状況



市役所本庁舎の電気自動車（EV）用急速充電器は、市民等に無料開放（平成27年3月現在）しています。



市施策の実施状況



～ 電力の環境配慮契約（入札による新電力との契約） ～

従来、市施設で使用する電力については、東京電力株式会社との随意契約を結んでいましたが、平成 12 年の電気事業法改正により電力供給等について競争原理が導入され、一般電気事業者だけでなく「特定規模電気事業者（新電力）※¹」による供給も可能となりました。

しかし、電気事業者によって、発電に伴う二酸化炭素排出係数や新エネルギーによる発電量など、環境配慮の状況が異なります。

そこで鎌倉市では、平成 25 年 8 月に「鎌倉市電力の調達契約に係る環境配慮実施要綱」を策定し、市が行う電力調達契約に係る入札参加資格の判定に際し、電気事業者の電力供給事業における環境配慮の状況について、環境評価項目を基準とした評価※²を実施することとしました。

その後、一部の市施設における電力契約の入札を開始し、平成 26 年 2 月～平成 27 年 1 月まではミツウロコグリーンエネルギー株式会社（市立小中学校、教養センター他の 55 施設）、平成 27 年 2 月～平成 30 年 1 月までは丸紅株式会社（市立小中学校他の 35 施設）、及び株式会社 F-Power（教養センター他の 17 施設）との電力契約を締結しました。

新電力と電力契約を行ったことにより、経費の縮減とともに、温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーの活用に貢献することが期待できます。

また、市が環境配慮契約を実施することにより、電力会社にできるだけクリーンで安い電力を供給するよう促していく効果もあります。



※1 特定規模電気事業者（新電力）とは、

大手電力会社（一般電気事業者）とは別に、大口電力需要家（原則 50 キロワット以上）向けに、大手電力会社の電線網を使って電気を小売りする電気事業者。PPS（power producer and supplier）ともいう。

東京電力や関西電力など全国に 10 社ある大手電力会社が独占していた電力小売市場の自由化を目指して、平成 12（2000）年に施行された改正電気事業法で初めて規定された。販売先は当初、工場など大規模な事業者に限られていたが、平成 17（2005）年 4 月から契約電力が「50 キロワット以上」に引き下げられ、小中学校やスーパーなどにも契約が広がった。

一般に新電力の電気料金は大手電力会社よりも安く、風力、太陽光、小型水力などの再生可能エネルギーに電源を依存している事業者が多いという特徴をもつ。

※2 環境評価項目は、

①二酸化炭素排出係数（配点 70 点）、②未利用エネルギーの活用状況（配点 15 点）、③再生可能エネルギーの導入状況（配点 15 点）のほかに、④グリーン電力証書の購入状況（配点 5 点）、⑤環境マネジメントシステムの導入状況（配点 3 点）、⑥環境報告書の発行状況（配点 2 点）の 6 つであり、合計点数が 70 点以上の場合に、入札参加資格有りとしています。評価対象は、前年度または前々年度の数値であり、配点基準等は随時見直しを行います。

基本施策②「都市構造の低炭素化に向けた総合的取組みの推進」に関する市内事業者等の取組状況
(表2-20)

(事業者名は、取組みごとに五十音順で記載)

取組み	主体	実施状況
①緑地保全、育成	株式会社カトレヤ (エコショップ認定店舗)	2階テラスやビルの前の花植えなど、敷地内の緑化を行っている。
	東京ガス株式会社	マンションを対象に「わたしの森プロジェクト」を実施。マンション造成時に敷地内に住民参加でつくり育てる緑地計画を行い、入居後、専門家やNPOのサポートを得ながら、住民の手で植樹や日々の手入れを実施。
	東京ガスエネワーク株式会社 (かまくらエコアクション21登録事業者)	緑化整備の推進として、事務所ショールームの前等にプランターを置いたり年2回花を植えている。 毎月1度、会社周辺の清掃(車道・歩道のゴミ拾や落ち葉拾い及び草刈り等)を行っている。
②省資源、3Rなど	湘南モノレール株式会社 (かまくらエコアクション21登録事業者)	工事発注時、廃棄物ができるだけ少なくなるような仕様としている。
	東京ガス株式会社	廃ガス管のリサイクルを推進している(毎年再資源化率100%を達成)。
	東京ガスエネワーク株式会社 (かまくらエコアクション21登録事業者)	紙の在庫管理、両面コピー、縮小コピーの推進、会議資料・社内文書のメール化による削減、分別回収箱を活用した分別の推進、リユース、リサイクル、リデュースの推進や、新聞、雑誌、紙屑等、廃プラスチック類、金属くず等のリサイクル率の向上に取り組んでいる。
	三菱電機株式会社(東部研究所地区)	生ごみ処理機を導入し、厨芥量の削減を実施。
	三菱電機照明株式会社	排出物の分別徹底による再資源化率向上への取り組み実施。
③再生可能エネルギー等の導入	三菱電機株式会社(東部研究所地区)	敷地内に、太陽光発電設備を設置。(合計約600kW)
④低公害車・省エネルギー型自動車等導入促進	東京電力株式会社	電気自動車充電器等のインフラ整備の推進(急速充電器設置と無料開放) 東京電力株式会社藤沢支社エリア内に、急速充電器3台設置(無料開放なし)

取組み	主体	実施状況
⑤再生可能エネルギー機器、省エネ機器等商品の開発、普及販売等	東京ガス株式会社	再生可能エネルギーの不安定な出力を補完する、天然ガスコージェネレーションシステムの導入を提案している。 また、経年劣化に伴う給湯器取り換えの際に、潜熱回収型高効率給湯器「エコジョーズ」をPR、普及している。 家庭用燃料電池エネファーム、高効率ガスコンロ、超高効率タイプのガスヒートポンプエアコン（GHP）、太陽熱利用ガス温水システム「SOLAMO」、太陽熱を利用したソーラークーリングシステム、BEMSの普及を行っている。
	東京電力株式会社	再生可能エネルギーである大気熱（空気熱）や河川水・地中熱等を利用する「ヒートポンプ」の導入を提案している。 世界で初めて、最高85℃の温水と冷水を同時供給するとともに、冷熱負荷の変動影響を受けずに安定的に温熱を供給することが可能である、水熱源・空気熱源負荷追従自動制御型温水ヒートポンプ「HEM-3WAY（商品名：超高効率ヒートバランスヒートポンプ）」を（株）神戸製鋼所および関西電力（株）と共同開発し、普及を行っている。
	三菱電機照明株式会社	LED照明器具の納入等。 （市内小中学校体育館照明のLED化提案と実施、大船商店街街路灯のLED化、その他市内施設へのLED賃貸借契約実施など）
⑥製品性能の向上による省エネ推進等	三菱電機照明株式会社	製品性能向上による、製品使用時のCO ₂ 排出量（電気消費量）削減。
⑦地域エネルギーのスマート化等に関する開発、普及販売等	東京ガス株式会社	一般商用水素ステーションの普及、スマートハウス実証事業、スマートエネルギーネットワークの推進を実施。



取組の方向性(2) 低炭素社会実現のための環境づくり

基本施策① 市民・事業者との協働でエネルギー問題に取り組むための環境づくり

市民や事業者との協働により、エネルギー問題に対する意識の向上や理解を深めることができる取組みを進め、すべての行動主体が継続してエネルギー問題にかかわっていくことができる環境づくりを行います。

基本施策①「市民・事業者との協働でエネルギー問題に取り組むための環境づくり」における市施策
(表2-21)

実施事業		担当課等	内容
①表彰等仕組みづくりの検討	先導的取組みを地域に広く紹介、還元する仕組みづくりについて、事例集等の検討を行う。	環境政策課	表彰等、先導的な取り組みを地域に広く紹介、還元する仕組みづくり等について、情報収集中。
②歩く観光の推奨	交通渋滞の緩和や環境負荷低減等のため、歩く観光を推奨。	観光商工課	歩く観光について、パンフレット等の作成、ホームページでの情報提供などを実施。


市民・市内事業者の方々から寄せられた声・アイデア

～ かまくら環境保全推進会議から その1 ～

【省エネ・節電について、現在取り組んでいること】

- * 集合住宅の階段灯をすべてLEDに替えた(交換のわずらわしさが解消されたと好評)。
- * 消エネ型テーブルタップに交換した。
- * 自動車買い替えの時、エコカーに替えた。
- * 家の新築で、全室で断熱性の高いペアガラスを使用することにした。
- * 家族でなるべく時間を空けずに入浴している。
- * 電気のON、OFFを細かく行い、使わなくてよい所は、OFFにしている。

基本施策①「市民・事業者との協働でエネルギー問題に取り組むための環境づくり」に関する市内事業者等の取組状況(表2-22)

(事業者名は、取組みごとに語順温順で記載)

取組み	主体	実施状況
①表彰等の実施	東京ガス株式会社	グループ会社を含む社内、取引先を対象に、環境負荷の低減や環境意識の啓発、環境情報の発信等、他の模範となるような取り組みを実践している会社、部署、個人を表彰している。
②協働事業の実施	湘南・省エネネットワーク	市と市民団体(湘南・省エネネットワーク)との協働事業として、「家庭向け省エネ実践講座」を実施。(平成26年度)



市民・市内事業者の方々から寄せられた声・アイデア

～ かまくら環境保全推進会議から その2 ～



【省エネ・節電について、これから取り組みたいこと】

- * 家族間で、省エネについて、話し合いの機会を定期的にもちたい。
- * 蓄電池を設置したい。
- * 子供達に、不便な生活の体験学習などを通して、手を動かす文化と共に、生活の知恵、省エネ等を学んでもらいたい。
- * 鎌倉はエコな街。海風、森からの冷たい風をもっと利用し、鎌倉は自然の力を活かした素晴らしい街であることを伝えたい。

基本施策② エネルギー環境教育の推進

次代を担い未来を生きる子どもたちが、将来に向けて自らが判断して主体的に行動し低炭素社会を築いていくことができるよう、エネルギー環境教育を推進します。

基本施策②「エネルギー環境教育の推進」における市施策(表2-23)

実施事業		担当課等	内容
①エネルギー環境教育の実施	①-1 環境保全関連講座の実施(再掲)	教育総務課	市民ボランティアである生涯学習推進委員会に委託している講座の中で、環境関係の講座を実施。
	①-2 環境教育出前講座の実施(再掲)	環境政策課	小中学校において、環境教育出前講座を実施。 内容例:「エネルギーの有効利用と電気自動車」等
	①-3 子供向け講座等の実施	環境政策課	子供向けの省エネ講習会、講座等を実施。 例:LEDを使った小学生及び保護者向け工作教室(鎌倉商工会議所と環境政策課の共催、三菱電機照明株式会社の協力による) 夏休み子供向け自然観察会(みどりのカーテンの効果などを学習)の実施等。
	①-4 環境教育アドバイザー派遣(再掲)	環境政策課	市内小中学校等へ、環境教育アドバイザーを派遣。



基本施策②「エネルギー環境教育の推進」に関する市内事業者等の取組状況(表2-24)

(事業者名は、取組みごとに五十音順で記載)

取組み	主体	実施状況
①環境教育、啓発活動の実施	鎌倉エネルギーカフェ	「エネルギーカフェ」の開催、「再生可能エネルギーを活用した住宅のセルフビルドワークショップ開催」。
	湘南・省エネネットワーク	【再掲】市と市民団体(湘南・省エネネットワーク)との協働事業として、「家庭向け省エネ実践講座」を実施。(平成26年度)
	湘南モノレール株式会社 (かまくらエコアクション21登録事業者)	節電や省エネ関係のポスターやビラ(行政や上部団体の作成したもの)を駅や社内に掲示し、お客様や社員の意識向上を図っている。
	team timberize	木造建築の提案、設計。展覧会、セミナー開催による啓蒙活動。
	東京ガス株式会社	学校教育支援活動として、出張授業(育むエコ食・燃料電池ってなんだろう)、先生向け研修会(エコ・クッキング)を実施。 平成26年度の鎌倉市内では、出張授業8クラス、先生向け研修会2回実施。
	東京電力株式会社	太陽光発電、風力発電を使った子ども環境教室への協力を実施。
	三菱電機照明株式会社	LED照明の環境貢献(省エネ性)について、出張講習を実施。(小学校でのLED工作教室実施など)(平成26年度:大船小学校にて実施)
②ホームページでの情報提供	東京ガス株式会社	【再掲】「エコハピ」サイトで「わが家のCO ₂ 診断」等の情報を提供。ガス・電気・水道・灯油の使用量と、診断の対象月、住宅種別、家族人数を入力することで、1990年の平均値と比べ、自宅のCO ₂ 排出量がどのくらい削減できているかを提示。 また、「今すぐできる省エネ対策」についても情報提供を実施。
	東京電力株式会社	【再掲】インターネットサービス「でんき家計簿」により、電気の使用量と料金の確認、料金メニューのシミュレーション、使用量の類似家庭との比較やアドバイス等を行っている。法人向けには「TEPCOビジネスプラットホーム」による情報提供等を実施している。 また、省エネ関連情報提供(「でんきの省エネ術」「でんきシミュレーション」「でんき機器の上手な使い方」など)を行っている。
③エコ・クッキングの普及	東京ガス株式会社	依頼のある行政、団体を対象に、エコ・クッキングの講座を実施。(玉縄学習センターにて実施)
④見学、展示会等	三菱電機株式会社(東部研究所地区)	太陽光発電設備について、顧客の見学受け入れを実施。
	三菱電機照明株式会社	環境関連展示会への出展、LED照明の広報出稿。



コラム ～事業者の取組み事例～

LED工作教室（三菱電機照明株式会社）

～省エネ学習と工作による環境教育～

三菱電機照明株式会社では、自社製品であるLEDを使った工作教室などの環境教育を実施しています。

平成26年11月には、（一社）日本照明工業会の後援、三菱電機照明株式会社及び日亜化学工業株式会社の協賛で実施している「あかりの日・LED工作教室」として、鎌倉市立大船小学校での環境教育を実施しました。

教室では、まず省エネ学習として、あかりの歴史、LEDの特長、光源別の消費電力量比較と省エネについて、実物や映写資料により学習した後、LEDライトを使った工作を作成しました。

工作では、LEDライトの配線をスイッチボックスにつないで灯りの点滅速度を調整した後、事前に作成しておいた工作（クリスマスツリーやロボットなど）にLEDライトを取り付け、個性豊かな作品が出来上がっていました。

子どもたちは、楽しく工作に取り組みながら、あかりの歴史や省エネルギーについての理解を深めることができました。



写真撮影：鎌倉市

情報提供：三菱電機照明株式会社



コラム ～事業者の取組み事例～

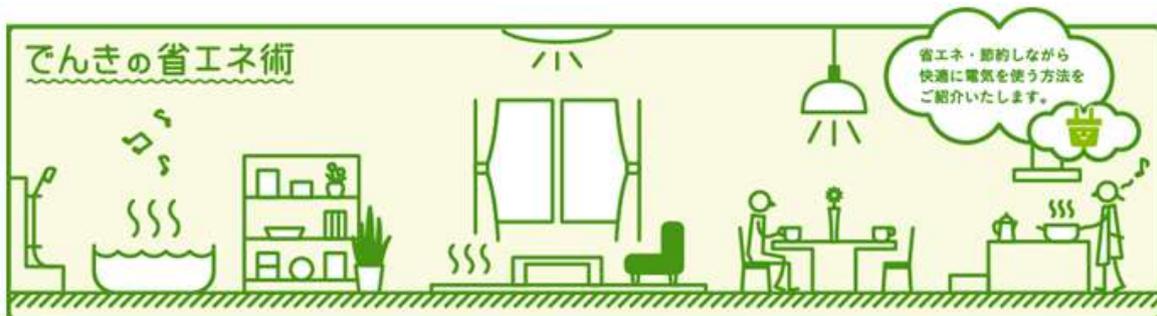
でんきの省エネ術（東京電力株式会社） ～省エネ・節約情報のホームページでの提供～

東京電力株式会社では「でんきの省エネ術」として、電気製品の使い方、選び方、省エネのポイント等の省エネ・節約情報を、ホームページ上で紹介しています。節電・節約した場合の金額や、電気契約種別ごとの節電・節約方法、省エネ製品へ買い替えた場合の節電・節約金額についても、詳しく知ることができます。

また、「でんきシミュレーション」では、電気料金メニューを変更した場合の電気料金の比較、電気料金計算サービス、適切な契約アンペアのチェックなども行うことができます。

そのほか、でんき機器の上手な使い方についても、省エネのコツを電気機器ごとに具体的に紹介しています。

（ホームページ URL <http://www.tepco.co.jp/savingenergy/index-j.html>）



電気の省エネ手法を知りたい

- ・電気の省エネのポイント
- ・電気製品の使い方、選び方を知りたい

<リビング>

・エアコン	・照明	・テレビ	・掃除機	・待機電力
-------	-----	------	------	-------

<キッチン>

・冷蔵庫	・電子レンジ	・ジャー炊飯器	・電気ジャーポット	・食器洗い乾燥機
・IHクッキングヒーター				

<サニタリー>

・温水洗浄便座	・洗濯乾燥機	・エコキュート		
---------	--------	---------	--	--

電気をゆずる。

資料提供：東京電力株式会社